

部局名	健康福祉部	所属名	児童発達支援センター	所属長名	佐藤 潔	電 話	488-1111
-----	-------	-----	------------	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4028		事務事業名称	障害児（者）相談支援事業					短縮コード	経常	4028	臨時	4029
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	心身障害児通園施設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		千葉県障害児（者）相談支援事業							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成12年10月在宅の障害児及びその家族が、地域の中で生活していける支援をすることを目的とした障害児（者）地域療育等支援事業を受託（平成8年5月国実施）し、事業を開始した。（今年度より千葉県障害児（者）相談支援事業と事業名称変更）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
社会状況の変化により、子育て不安を抱える保護者が増加しそれに伴い相談数も増加している。その解決として早期発見・早期療育の充実が求められており、在宅の障害児及びその家族へのなお一層の支援が必要だと考えている。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	03	障害者（児）福祉						
					小項目（施策）	01	障害の発生予防・早期受診、治療						
						02	障害者（児）保健福祉サービスの充実						
					細 項 目	03	治療・療育体制の充実						
						01	相談・支援体制の充実						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	発達に遅れ、心配のある児童。									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 18年度より事業名を「障害児（者）相談支援事業」に変更。 地域での生活支援。療育の実施。相談業務。 ○発達に遅れ、心配のある児童：①相談②外来療育（少人数7グループ）③保育園等施設支援④機能訓練⑤家庭巡回指導									
	※平成19年度に計画していること： 同上									
意図 （何を狙っているのか）	発達に心配、遅れのある児童に対して：①発達の心配・遅れに対応する内容を明確にし、適切な療育サービスに結びつける。②必要な外来療育サービスを受けることが出来る。③保育園等施設で児童発達支援センターのスタッフの支援を通じて、各施設が提供する保育等の当該児童が必要とする適切なサービス。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	○障害の予防と早期発見 ○関係機関と連携を図り、地域療育体制を充実することにより、早期発見早期療育効果が向上する。 ○地域在宅障害児に対する外来巡回相談などが充実する。									
区 分					単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	他機関を通して相談のために来所した延べ児童	人	479	500	520	500			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	外来療育の延べ回数	回	834	720	820	700			
	指標 2	機能訓練を受けた実施延べ回数	回	1,769	1,988	1,555	2,000			
	指標 3	巡回相談の延べ回数	回	138	210	176	200			
成果指標	指標 1	外来療育を受けた、発達に心配・遅れのある児童	人	834	720	820	700			
	指標 2	機能訓練を受けた児童	人	1,769	1,988	1,555	2,000			
	指標 3	巡回相談を受けた児童	人	138	210	176	200			
上位成果指標	指標 1	児童発達支援センター措置利用者数	人			42				
	指標 2	児童発達支援センター外来利用者数	人			1,528				
	指標 3	障害者相談支援施設数	ヶ所			2				

